

## 認定事業再編計画の実施状況の概要

1. 認定した年月日 平成31年3月25日
2. 認定事業者名 豊田合成九州株式会社
3. 事業再編の実施期間 平成31年3月～令和3年3月

### 4. 事業再編に係る事業の達成状況等

#### (1) 事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

##### (事業の構造の変更)

豊田合成九州株式会社は、親会社である豊田合成株式会社から、九州事業および関連資産の一部を譲受。これにより、九州事業として、柔軟な経営の意思決定と業務執行のスピードアップを図り、地域に根ざした自立化した会社を目指すとともに、次世代の収益の柱となる新規投資等を行うことにより、事業価値の向上を目指した。

##### (前向きな取組)

###### ①増資の受入れ

- ・平成31年4月1日に、当社の親会社である豊田合成株式会社より増資（64.9億円）を受入れ

###### ②運転資金の借入れ

- ・平成31年4月1日に、運転資金の44億円を金融機関より借入れを実施
- ・借入金額の内訳は、福岡銀行より30億円、西日本シティ銀行より10億円、三菱UFJ銀行より4億円の借入れを実施

###### ③新生産ライン（生産設備）の稼働開始

- ・令和元年5月にミリ波レーダー対応エンブレム生産ラインの稼働開始

###### ④新生産ライン（生産設備）による生産

- ・新ラインの稼働により、令和2年度は約15億円の売上高を創出

###### ⑤生産性向上や不良率の低減活動

- ・人作業の省人化や作業改善の積み重ねや一人工追及を行い、間接人員者（部品供給者や検査員）の省人を実施

#### (2) 生産性の向上を示す数値目標の達成状況

生産性の向上については、令和3年度は平成31年度と比べて従業員1人あたりの付加価値額を19%向上させることを目標としていたところ、実際には19%向上した。

また、財務健全性についても、有利子負債/キャッシュフローが▲0.8倍と経常収支比率が103.4%を目標としていたところ、令和2年度は、有利子負債/キャッシュフローが▲2.8倍、経常収支比率が109.3%となり、それぞれ目標を達成した。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

豊田合成九州株式会社 0名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

豊田合成九州株式会社 計画 349名 実績 380名

(3) (2)中、新規採用された従業員数(令和3年3月までの実績)

計画 5名 実績 26名

(4) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数(令和3年3月までの実績)

出向 計画 30名 実績 30名

転籍 計画 317名 実績 317名

解雇 計画 0名 実績 0名

以上